

第2次浜松市環境基本計画における進捗状況について

環境部環境政策課

1 趣旨

本市は、平成27年3月に策定した第2次浜松市環境基本計画に掲げる5つの基本方針に基づき施策等に取り組んでいます。

計画では基本方針毎に環境指標等を設定し、目標数値の達成状況や施策の実施状況等により、計画の進捗状況を把握しています。

この度、平成28年度の進捗状況を取りまとめたので報告します。

2 概要

現状としては、全17項目の数値目標のうち、「達成」と「ほぼ達成」が、15項目あり、目標の達成に向けて順調に推移しています。

「未達成」の2つの指標については、目標達成に向けて、より一層の推進が必要です。

(1) 環境指標の達成状況

基本方針	指標数（達成区分別）			計
	達成	ほぼ達成	未達成	
① 健全な生活環境が保全される都市	7		2	9
② 資源を有効に活用する循環都市		2		2
③ エネルギーを無駄なく賢く利用する都市	2			2
④ 多様な自然と人々の暮らしが共生する都市	2			2
⑤ 環境活動を実践する人を育てる都市	1	1		2
合計	12	3	2	17

評価区分の見方は、下表のとおり

区分		達成状況区分の判断基準
達成	◎	「現状値」が「目標値」以上、又は、基準値以上のもの
ほぼ達成	○	「現状値」が「目標値」の70%以上のもの
未達成	△	「現状値」が「目標値」の70%未満のもの、又は、基準値未満のもの

環境基準・指標	H25 初期値	H27 実績値	H28 目標値	H28 実績値	H36 目標値	達成 状況	
① 健全な生活環境が保全される都市							
大気汚染に係る環境基準の達成状況*1	二酸化硫黄	100% (6/6)	100% (4/4)	—	100% (4/4)	—	◎
	二酸化窒素	100% (10/10)	100% (10/10)	—	100% (10/10)	—	◎
	一酸化炭素	100% (3/3)	100% (3/3)	—	100% (3/3)	—	◎
	浮遊粒子状物質	100% (10/10)	100% (9/9)	—	100% (9/9)	—	◎
	光化学オキシダント	0% (0/10)	0% (0/9)	—	0% (0/9)	—	△
	微小粒子状物質	0% (0/4)	100% (9/9)	—	100% (9/9)	—	◎
水質汚濁に係る環境基準の達成状況*2	河川 (BOD)	100% (7/7)	100% (7/7)	—	100% (7/7)	—	◎
	湖沼 (COD)	0% (0/2)	50% (1/2)	—	50% (1/2)	—	△
	海域 (COD)	100% (6/6)	83.3% (5/6)	—	100% (6/6)	—	◎
② 資源を有効に活用する循環都市							
1人1日当たりの一般廃棄物排出量	897.7g	901.1g	878.7g	890.8g	850.5g	○	
リサイクル率*3	21.5%	19.6%	21.5%	19.0%	30.1%	○	
③ エネルギーを無駄なく賢く利用する都市							
市域の温室効果ガス排出量の削減目標ガス排出量	基準年度	—	<H26> 74千t-CO ₂	<H26> 340千t-CO ₂	<H42> 1,507千t-CO ₂	◎	
電力自給率*4	6.6%	10.4%	11.3%	13.6%	17.6%	◎	
④ 多様な自然と人々のくらしが共生する都市							
森林認証取得面積	42,174ha	43,553ha	44,400ha	44,404ha	48,000ha	◎	
緑地保全面積	1,373.62ha	1,374.34ha	1,374.00ha	1,374.13ha	<H41> 3,930.9ha	◎	
⑤ 環境活動を実践する人を育てる都市							
環境に配慮した行動や活動をしている市民の割合*5	—	59.4%	—	61.7%	66.6%	○	
環境学習指導者	—	30人	40人	44人	100人	◎	

*1 市内の一般環境大気測定局及び自動車排出ガス測定局のうち、大気環境基準値を達成した測定局の割合（達成地点数／測定地点数）

*2 公共用水域における生活環境の保全に関する環境基準を達成した測定地点の割合（達成地点数／測定地点数）

*3 (資源物量＋再資源化量)／総排出量

*4 最新実績値がH26（2年遅れ）のため、H26の目標値と比較して評価

*5 市内に立地する再生可能エネルギー等の年間発電量（電力会社以外）／市内の年間総電力使用量

*6 市民意識調査によるごみ減量、節電、リサイクル、自然保護活動など環境に配慮したくらしを実践する市民の割合（年度毎の目標値は、設定していないため、H36の目標値と比較して評価）

(2) 概況

① 健全な生活環境が保全される都市

大気環境や、水環境等の調査・監視を行う一方、工場・事業場等へ届出指導や立入調査、啓発活動を進めました。大気環境については、6項目の大気汚染物質の常時監視を実施し、光化学オキシダントを除く大気汚染物質は、全ての地点において環境基準を達成しています。水質については、環境基準を達成した地点が、昨年度から1地点増えています。

出前講座等の市民を対象とした排出抑制啓発や、排出基準が適用されない工場・事業場に排水指導を行うなど、家庭や工場・事業場における汚濁物質の削減を促進していくとともに、環境監視を続け、健全で快適な生活環境を保全する各種施策を推進します。

② 資源を有効に活用する循環都市

「浜松市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、一般廃棄物の適正な処理やごみ減量、リサイクルの取組を推進し、指標である一般廃棄物排出量は減少傾向にあり、目標値に近づきました。また、多量排出事業者による産業廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用の取組を進めました。

「生ごみ」と「紙類」の減量対策に重点を置き、生ごみの水切り推進、雑がみ回収やごみ減量・3R説明会等を継続して実施し、更なるごみの削減、リサイクル率の向上を目指すとともに、地域毎のごみ排出特性に応じた啓発に取り組めます。

③ エネルギーを無駄なく賢く利用する都市

温室効果ガスの排出の抑制を行う施策等を推進し、指標である市域の温室効果ガス排出量の削減目標ガス排出量は、目標を達成しています。また、再生可能エネルギーや未利用エネルギーの活用を推進するとともに、エネルギーマネジメントや省エネルギーを推進し、指標である電力自給率は、目標を達成しています。

引き続き、太陽光など地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入により、多様なエネルギーの確保に努めるとともに、「浜松市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき、エコドライブをはじめとするCOOL CHOICEの普及啓発など各種施策を展開し、市内から排出される温室効果ガスの削減を目指します。

④ 多様な自然と人々のくらしが共生する都市

「生物多様性はままつ戦略」に基づき、生物多様性保全と持続可能な利用に向けて取り組むとともに、森林や緑地の保全を図り、指標である森林認証取得面積、緑地保全面積の目標を達成しています。

今後も、森林認証取得面積の拡大に向けて、市民や企業等の森林認証制度に対する認知度の向上に努めていきます。また、身近な生き物調査等を通じて生物多様性への関心を深めるとともに、外来生物対策の充実を図ります。

⑤ 環境活動を実践する人々を育てる都市

学校・地域・社会など幅広い場における環境教育を推進するため、移動環境教室やイベント開催などによる環境行動を実践するきっかけを創出しました。また、指標である環境学習指導者養成講座による人材養成人数は、目標値を達成し、順調に進捗しています。

環境学習指導者のレベルアップ講座や交流会を通じて指導者の資質向上を図り、環境問題に対して自ら行動できる人材の育成を進めます。